

第2学年 国語科学習指導案

平成30年12月4日(火) 第5校時

授業者 加納 知

1. 単元名

せつめいのしかたに気をつけて読もう
分かりやすくせつめいしよう

2. 教材名 「しかけカードの作り方」 「おもちゃの作り方」

3. 指導の立場

「しかけカードの作り方」は、作り方の作業手順について解説した手順書で実生活に大変近い文章である。大きく「材料と道具」「作り方」「使い方」の三項目に分けられている。そして、手順を示す場合に、文章だけでなく写真も効果的に使って示されている。したがって児童の理解は、叙述にそって作業を進めながら、写真をよく見たり、文章と結びつけて丁寧に読んだりすることによって理解が深まっていくであろう。

「しかけカードの作り方」では、「分かりやすい説明の仕方の工夫を見つける」活動を行う。次の第三次ではその工夫を使って、自分でおもちゃの作り方の文章を書くことになる。つまり、習得した力を活用するという単元の構成になっている。

これまでに児童は、「たんぼぼのちえ」で、順序に着目して説明的な文章を読む経験をした。本教材では、初めて「手順を読む」経験をするようになる。ここで手順の読解を行った後、「おもちゃの作り方」で、児童一人一人が自分のおもちゃの作り方を書く活動につなげる。「手順ごとに書かれた文章を読む」ことで理解した文章の工夫を、第三次の書く活動で確かめ、定着させることになる。

児童は、「たんぼぼのちえ」の説明文を、挿し絵を手がかりにしながら、順序を示す言葉に着目して、4つの知恵を読み取ることができた。本教材では、「手順の流れ」を学習するので、作る順

序にそった読み取り方を指導していきたい。

本単元では、第三次の「おもちゃの作り方」を書く活動を見通し、「何を工夫すれば分かりやすく書くことができるのか」をよく考えさせることが必要である。さらに、1年生に向けての説明書を書くので、相手を意識した配慮も必要である。そこで、実際にカードを作るという作業を伴う読み取りとともに、説明の仕方の工夫を一つずつ正確に読み取らせたい。それが、今後の「〇〇の作り方」「〇〇のしかた」など、生活科や学級活動など様々な場面で生かすことのできる、生活に直結した力になると考える。

4. 研究内容の視点から

○研究内容1に関わって

全13時間の単元指導計画である。第一次では、単元を貫く課題を知らせ、学習計画を立てる。第二次では、説明の仕方の工夫について学習する。第三次では、それまでの学習を活かして、自分で「おもちゃの作り方」の文章を書く活動を位置付けた。特に第三次では、個々の児童によっておもちゃが異なるので、個に応じた丁寧な指導を行う。

○研究内容2に関わって

〈交流の形態〉

作り方の文章全体を通して、写真と本文とのつながりを見つける学習である。これは、児童によっては難しい学習であると考えられる。そこで、考える時に助けとなるワークシートを用意し、本文のどこに目をつけて読めばよいのか、その学び方を指導する。個人が自分の考えをもった後全体で交流し、その後、教師がまとめる形をとる。

〈学習のまとめ〉

本時のまとめで、「写真と本文とのつながりが作り方の説明をわかりやすくしている」と児童自ら気付くことが、第三次の学習に効果的につながると考える。そのために、板書を活用して確認した後に、まとめ用のプリントを配布し、まとめの仕方の指導を行う。また、穴埋め式のプリントを2種類用意し、児童の理解度に合わせることができるようにする。

5. 単元指導計画

◇単元の指導目標

◎順序を考えて教材文を読み、説明の仕方について考えることができる。（知(2)ア、読(1)ア）

○言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。（知(1)オ）

◎説明の順序を考え、言葉のまとまりに気を付けながら文章を書くことができる。

（知(1)オ・(2)ア、書(1)イ・ウ）

○文章を読み返し、間違いなどを正すことができる。（書(1)ア）

単元を貫く課題 「しかけカードの作り方」の文章を読んで説明の仕方の工夫を知り、1年生の子に、「おもちゃの作り方」を分かりやすく説明する文を書こう。
--

次	時	ねらい	学習活動	筆者の説明の工夫	評価規準 (評価方法)
第一 次	1	「おもちゃの作り方」の文章を書くという活動の見通しをもち、学習計画を立てることができる。	1. しかけカードの作り方という題名から考えられることを話し合う。 2. 写真を見て、しかけカードとは何か考える。 3. 単元のめあてを読む。	①だい名	【関】単元を貫く課題を理解し、学習に対する意欲をもつことができる。（発言）
			しかけカードの作り方の学習の進め方を考えよう。		
			4. 単元を貫く課題を知る。 5. 学習の見通しを立てる。		
第二 次	2	本文を読んで文章に合った5枚の写真の順序通りに並べる活動を通して、文のまとまりごとに写真と文を照応させながら読むことができる。	1. 本時の課題を知る。 「しかけカード」を作るじゅんばんを考えるのに大切なことはなんだろう。	⑦書かれているじゅんばん行替え ⑧絵・写真と文をつなげる それぞれの文章のまとまりとの対応 ⑤じゅんじよをあらわす言葉	【読】写真と文を照応させながら読むことができる。（発言・プリントへの書き込み）
			2. 5枚の写真を見て、どういう順番に並べ替えるのが良いか話し合う。 3. 音読をしたり、本文を読んだりしながら、写真を選び、理由を発表する。 4. まとめを行う。 5. 次時の見通しをもつ。		
	3	文章を読みながらしかけカードを作ることができる。	1. 本時の課題を知る。 しかけカードを作ろう。	⑤じゅんじよをあらわす言葉 まず、つぎに、それから、こんどは、さいごに ⑧絵・写真と文をつなげる	【読】文章を丁寧に読みながら、しかけカードを順序よく作ることができる。（作り方・文章への書き込み）
			2. 文章を読みながら、実際にしかけカードを作る。 3. 自分が何度も読み直した所に鉛筆で線を引く。		
	4 5	文章を読み、段落毎に分かりやすかったところや言葉を見つけることができる。	1. 本時の課題を知る。 せつめいのくふうを、だんらくごとに見つけよう。	②文のおわり 注意することと気を付けることの別数字 等 ④つなぎ言葉 効果こうすると	【読】文章に線を引きながら、説明の工夫をいくつか見つけることができる。（発言・文章への書き込み）
			2. P40のてびきを読んで参考にする。 ①順序 ②写真との対応 ③注意すること ④効果 3. 混乱しないように、1段落ずつ工夫を見つけ、全体で確認しあいながら読み進める。		
	6	しかけカードの作り方の文章を読んで、説明の仕方の工夫を見つけ、まとめることができる。	1. 本時の課題を知る。 作り方のせつめいのくふうを見つけ、まとめよう。		【読】作り方の文章全体を見て、共通する工夫を見つけることができる。（発言・ノートへの記入）
			2. 前時をふり返る。 3. どんな工夫があるか各自で考える。 4. 各自でみつけたことを交流する。		

		5. 教師がまとめる。 6. 深めの発問により、説明の仕方の工夫が大切なことが分かる。			
	7	文章全文を通しての筆者の説明の工夫を見つけることができる。	1. 本時の課題を知る。 文しょうぜんたいをとおしてのくふうを見つけよう。 2. 全文を読む。 3. 前書き、材料・道具、作り方・使い方が書かれていることに気づく。 4. それぞれのよさを話し合う。	⑦書かれているじゅん番 前書き 材料、道具 作り方 使い方	【読】文章全体を通しての組み立てに気づき、その工夫を見つけることができる。(発言・ノートへの記入)
第三 次	8	おもちゃの作り方を書く学習の進め方を確かめることができる。	1. リード文を読む。 2. 本時の課題を知る。 おもちゃの作り方の学習の進め方を考えよう。 3. どうしたら書くことができそうか考える。 4. 本文を読んで書き方を考える。 5. 学習の見通しを立てる。		【関】おもちゃの作り方の説明書を書く学習に意欲をもつことができる。(発言)
	9	「おもちゃの作り方」の説明書の分かりやすい書き方を理解することができる。	1. 本時の課題を知る。 けん玉の作り方を読み、わかりやすいせつめいのしかたを見つけよう。 2. 本文を読む。 3. 文章の組み立てを考える。 4. それぞれにどのようなことを書くとよいのか話し合う。 5. どのおもちゃについて書くか考える。	⑦書かれているじゅん番 前書き 材料、道具 作り方 使い方	【書】けん玉の作り方の文章を読み、説明書を書くために必要な事柄を集めることができる。(発言)
	10 11	おもちゃの作り方の説明書を分かりやすく書くことができる。	1. 本時の課題を知る。 おもちゃの作り方のせつめいしよを分かりやすく書こう。 2. 前書きを、教師から示された文章を選択して短冊に書く。 3. 材料と道具を短冊に書く。 4. 作り方を、1年生の友だちの反応を意識しながら絵とともに短冊に書く。 5. 遊び方を、教師から示された文章を選択して短冊に書く。	⑦書かれているじゅん番 ⑤じゅんじよをあらわす言葉 ⑧絵・写真と文をつなげる ②文のおわり することと気をつけることとの区別 ④つなぎ言葉 こうすると～になります	【書】おもちゃの作り方の説明書を内容のまとまりを考え、手順にそって書いたり、絵と対応させたりしながら文のつながりを意識して書くことができる。(発言・短冊)
	12	下書きを読み、観点にそって書かれているか確認し、直すことができる。	1. 本時の課題を知る。 自分で書いたおもちゃの作り方を読みなおそう。 2. 短冊を声を出して読む。 3. 誤字脱字、読みにくいところをみつけ赤鉛筆で直す。 4. 説明の工夫が使われているかチェックカードを使って確認する。 5. 短冊を画用紙に仮り止めする。		【書】自分で書いた文章を読み直し、間違いなどを直すことができる。(短冊)
	13	友だちと読み合い、感想を伝え合って直し、分かりやすい文章になるように清書をすることができる。	1. 本時の課題を知る。 友だちのせつめい書を読んでかんそうをつたえあい、せいしよをしよう。 2. 友だちのせつめい書を読む。 3. 直すところを教え合う。 4. 必要な短冊は書き直し、画用紙に貼って完成させる。		【書】友だちの文章を読んで、感想を言ったり、書き直したりすることができる。(発言・短冊)

6. 本時の展開(2/13)

(1) 本時のねらい

本文を読んで文章に合った5枚の写真を順序通りに並べる活動を通して、文のまとまりごとに写真と文を照応させながら読むことができる。

(2) 本時の展開

	ねらい	学習活動	教師の指導・援助
つかむ 7分	本時の課題をつかむことができる。	1. 単元を貫く課題を確認する。 「しかけカードの作り方」の文章を読んで説明の仕方の工夫を知り、1年生の友だちに「おもちゃの作り方」を分かりやすく説明する文を書こう。」 2. 「しかけカード」を作っている5枚の写真を見て、何をしているところか考える。 3. 本時の学習課題を確認する。 「しかけカード」を作るじゅんばんを考えるのに大切なことは何だろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物を示しながら単元を貫く課題を確認する。 ・写真を配付し、何をしているところか簡単に考えさせ、今日の授業の流れを確認する。 ・掲示物は、教室北側に貼っておく。
さぐ 30分	説明に合う写真を選び、その理由を話し合っ てまとめることができる。	4. 本文のプリント1～3の段落を順に読んで、説明に合う写真を選ぶ。 音読をし、文のまとまり(段落)ごとに写真を選び、選んだ根拠となる文に線を引いて、発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・1つ目の段落では「二本の切り込みを入れる」という言葉があります。この写真でここに二本の切り込みがあるので選びました。 ・2つ目の段落には「おります」という言葉があります。この写真ではここを折っているので選びました。 ・3つ目の段落には「押し上げる」という言葉があります。この写真では、ここを押し上げているので選びました。 5. 第4、第5段落について、個人で考えさせ、全体交流を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・4つめの段落には「かざりを作ります」という言葉があるので、この飾りを作っているところの写真を選びました。 ・5つめの写真では「かざりはります」という言葉を見つけたので、かざりがはってある写真を選びました 6. 学級全体でまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・文のまとまりごとに写真を1枚選ぶことができた。 ・写真と文はたいせつなことばでつながっているね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読中、順序を表す言葉が出るたびに、黒板にキーワードとして位置付ける。 ・大型テレビを使って写真を拡大投影し、児童の発言と写真をつなげていく。 ・本文と写真を黒板用にも準備し、根拠となる部分の線を示していく。 ・プリントに線を引いているかどうかを見届ける。 ・板書にキーワードになる言葉を位置づける。
まとめる 8分	「しかけカード」を作る順番を考えるのに大切なことをまとめることができる。	7. 本時のまとめをする。 「しかけカード」を作るじゅんばんを考えるには、文のまとまりで考えたり、大切なことばをさがしたりするとよい。 8. 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・次は、本文を読みながら、自分で「しかけカード」をつくってみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめの型になる、穴埋めプリントを、児童の理解度に合わせて2パターン用意し、子どもに選ばせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>評価基準・評価方法</p> <p>【読むこと】</p> <p>写真と文を照応させながら読むことができる(発言・プリントへの記入)</p> </div>